

特257

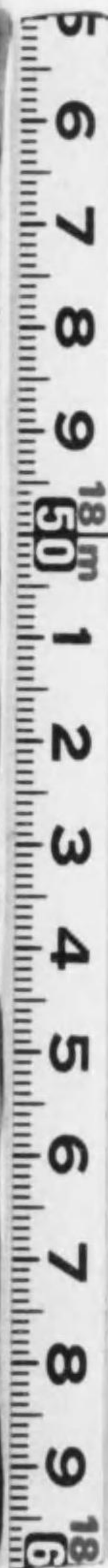
6

510

8

富士太鼓

昭和改訂版
肉六

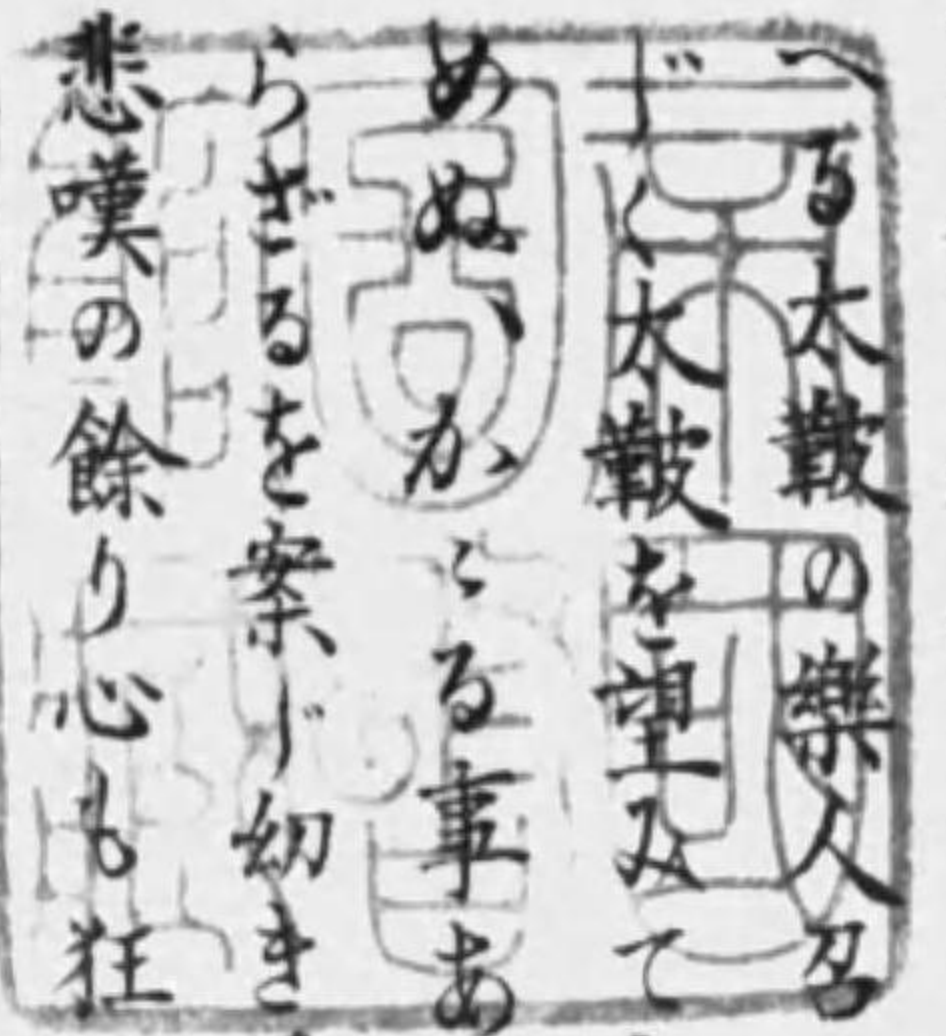


始



富士太靴

(梗概) 萩原の院の御宇、宮中に七日の管弦あり、天王寺より淺間とい
 へる太靴の樂人召れて上りしが、ここに住吉の樂人富士といへるも同
 じ太靴を望みて上りける、淺間は富士を憎き者に思ひ遂に是をあや
 めぬかたる事あるべしとも露知らぬ富士が妻、目を経れども夫の歸
 らざるを案じ切き子を伴ひて都に上り初めて富士の討たれたるを
 悲嘆の餘り心も狂はしく、夫の出立前兵々も留めし事など物語り、か
 く夫の果てたるもあの太靴故なれば、おちて恨きを晴さんと持ちたる
 撥をば劍と思ひ太靴を敵と見てこれをおち、悲しみの樂を奏して、泣
 くく故郷に歸りける。



シテ 富士の妻
子方 富士の娘

ワキ 官人

所 京都
季 秋

富士古歌

^{わき}詞是ハ蘇原院よ仕へ奉る臣下也。扱も肉
 裏もて七日の管絃乃以座ハ役者降必
 天王寺より浅沼と申して隠きたのき太鼓
 此よ手もてハ是ハ百もて舞上りてハ因く
 任吉の樂人よ、ゆふ士と申して、是もをとりぬ

ち鼓の上よにこゆるは是のまにやこく
よりては君はゆをまゝ一人の浅間
ひとりいふも面白き名あり
水ノ下 舟は信濃なる所の舟もあはれ
富士乃酒りれこやあはれこ
そよたのむいふたのつた天晴はるに
詞

うさるものをとけしまければ又富士の上
よと申人もあはれ浅間はあはれ
富士が振袖とて富士が宿よ押よ急
あはれをいふ定てゆり此者のる
ぬまのいまはあはれ富士が舞
夜忠をいふたあはれ
治承末上 雲は上
子方 雲は上

舞^ヒ歌^ヒる^ルく^ハ笛^ハ士^ハ此^ノ行^ハ清^クを^マら^フ神^ニん

^上是^ハ津^ノの^國位^者乃^レ樂^人笛^士と^中人^乃

妻^ヤ子^ヨも^ハこ^トさ^ハあ^ハめ^ト内^裏ま^テ七

日^比管^絃乃^ハは^入公^役者^天王^ちも^のり^百れ^て

光^はは^はを^あい^わづ^まも^人志^れを^を

み^中さん^其ら^およ^敷上^り一^曲志^間

乃^後心^よう^は月^のる^身を^志る^神乃^レ

泪^との^る一^曲志^間 福^を受^け候^へ

よ^思ひ^立て^し雲^井や^我も^あら^古の^路

な^れや^位者^乃松^の木^間より^誦れ^ば月^落

か^はら^城も^早に^訪つ^けは^そげ^ハ婦^よい

の^里村^常此^結ぶ^契乃^後心^よう^は月^のる^身を^志る^神乃^レ

あふや男の都はたぬくさよわたりく

あふ^い富士のやうなれ人のつらくよ渡りの世

是^{して}よふ^{あふ}あふのあふの何よて渡

里の世はつらくあふあふよまて

あふ^{あふ}あふのあふのあふの富士

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

あふ^{あふ}あふのあふのあふのあふ

カニル

謀カニルのまカニルいたカニルなカニルまカニルいカニル初カニルれカニル道カニルぞカニルよカニル一カニルあカニルまカニルしカニルまカニル

同上

ヤアカニルいカニルまカニルおカニルかカニルくカニルあカニルぐカニルまカニルいカニルとカニル思カニルひカニルあカニルらカニルぐカニル秋カニル夜カニル

ぐカニルまカニルをカニルおカニルしカニルちカニルんカニルらカニルうカニルうカニル後カニルまカニルとカニルもカニルもカニルむカニルしカニルまカニル

物カニルをカニル今カニル更カニルよカニル神カニルあカニルしカニルぬカニル身カニルをカニル恨カニルくカニルこカニルちカニル歎カニルくカニル

そカニルまカニルなるカニル歎カニルくカニル世カニルをカニル成カニルらカニルるカニル あカニルしカニル恨カニルめカニル

一カニルやカニル 善カニルいカニルくカニル出カニル入カニル此カニル敵カニルのカニルあカニルまカニルいカニルよカニルせカニルいカニルいカニルうカニルぬカニル

子方上

あカニルまカニルいカニルちカニルをカニル鼓カニルまカニルてカニルしカニルそカニルいカニルくカニル何カニル速カニル敵カニルとカニルいカニル作カニルらカニルそカニル

余カニルりカニル此カニル事カニルのカニル心カニル分カニル乱カニルまカニルにカニル筋カニルなカニルまカニルしカニル事カニルをカニル佐カニル

いカニルそカニルやカニルとカニルはカニルあカニルるカニル一カニルやカニル佐カニル 悪カニルのカニル者カニル乃カニルいカニルひカニル

一カニルとカニルやカニルあカニルるカニルでカニル別カニルまカニルしカニル一カニルそカニルいカニル人カニルのカニル計カニルるカニル事カニルもカニルあカニル

のカニルちカニル鼓カニルもカニルしカニル世カニルふカニルしカニル人カニルもカニル別カニルるカニルれカニルはカニル時カニル恨カニル

めカニル一カニルまカニルいカニルちカニル太カニル鼓カニルなカニルりカニル一カニルまカニルのカニル敵カニルよカニルいカニルぎカニル付カニルんカニル

子方上

実理子方上のなるまじとせよ別る事もある
 古鼓子方上のはあゝ親の鼓そのうちて
 心を慰子方上さまん あゝいづるまも歩ん此ら
 しき子方上やねいん遠きよ ねとこの
 姿物子方上なよ 物の具なれやる甲 娘の
 鼓子方上を歩子方上おはあ 鼓子方上を歩子方上おはあ うづまん

と上もさるや母のきう上の秋上の風上のつ
 歩上ちま上やうて上を上く上と上ま上る上鼓上
 日上あ上あ上さ上る上乃上留上る上や上那上歩上 物上も上思上入上た上
 後上ち上や上く上ま上く上る上海上よ上引上る上魚上
 心上詞上も上及上ぶ上ま上に上富士上が上幽上冥上ある上と上思上ん
 へ上く上ま上く上乃上娘上や上め上ど上う上と上太上鼓上う上

あよ^{ヤア} 目も既^マにか^カふきぬ^ヌく^ク山^{ヤマ}乃^ノ
端^ハを眺^{ノゾ}めやり^{ヤリ}く招^イき^キ忌^イま^マを舞^マれ^レま^マの^ノ
嬉^{ウレ}し^シな^ナ今^{イマ}了^リ井^イふ^フ思^{オモ}ふ^フ敵^{トク}う^ウち^チに^ニ付^ツ
ま^マく^ク着^キる^ルや^ヤ出^デま^マい^イん^ンま^マよ^ヨい^イを^ヲる^ル胸^{ムネ}
乃^ノ烟^ケり^リふ^フじ^ジら^ラ根^ネを^ヲた^タせ^セる^ル泪^{ナミダ}了^リ井^イふ^フ
あ^アう^ウり^リき^キれ^レは^ハき^キり^リな^ナら^ラや^ヤ人^{ヒト}い^イま^マく^ク

喉^{ノド}中^{ナカ}て^テは^ハく^クを^ヲと^ト伶^{レイ}人^{ジン}の^ノ姿^{スガタ}を^ヲ甲^{カウ}皆^ミぬ^ヌ
ま^マく^クわ^ワり^リ乞^イれ^レを^ヲ髪^{カミ}こ^コま^マを^ヲさ^サら^ラひ^ヒ
ま^マら^ラつ^ツら^ラま^マを^ヲれ^レん^ンと^ト又^{マタ}ち^チを^ヲた^タり^リを^ヲ鼓^ツ了^リ井^イふ^フ
思^{オモ}ふ^フな^ナつ^ツま^マの^ノ形^{カタ}見^ミな^ナれ^レと^ト見^ミる^ルを^ヲそ^ソう^ウに^ニ
な^ナら^ラぬ^ヌ見^ミる^ルを^ヲそ^ソう^ウに^ニあ^アる^ル

2.25

著者所有



昭和九年七月廿五日印刷
昭和九年七月三十日發行

定價金五拾錢

東京市下谷區上根岸町八十二番地

著者 寶生新

東京市京橋區銀座西六丁目三番地

發行兼印刷者 江島伊兵衛

發行所 下掛寶生流謠本刊行會

九

終

